

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 12 月 18 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (12/18 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約2.0m ³ /h	24.0	106.2 kPa abs	A系: 0.15 vol%
		給水系:約2.3 m ³ /h			B系: 0.10 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約3.5m ³ /h	35.9	7.40 kPa g	A系: 0.09 vol%
		給水系:約2.0 m ³ /h			B系: 0.09 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約3.5m ³ /h	36.0	0.26 kPa g	A系: 0.19 vol%
		給水系:約2.0 m ³ /h			B系: 0.18 vol%

*1 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

【1~3号機】

- 12/10 11:14~14:05 原子炉注水について、12/10~12/17 に予定されている高台原子炉注水ポンプ上屋(うわや)新設工事のため、常用高台炉注水ポンプからタービン建屋内炉注水ポンプに切替。
14:05 これに伴い、1号機原子炉への目標注水量(総流量 4.5m³/h)については、タービン建屋内炉注水ポンプの流量下限値(4.5m³/h)と同じであり注水流量の調整が困難となるため、目標注水量が 5.0m³/h(総流量)になるよう、給水系からの注水量を約 2.4 m³/h から約 2.5 m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 1.9 m³/h から約 2.5 m³/h に変更。あわせて、2号機原子炉への注水について、給水系からの注水量を約 1.8 m³/h から約 2.1 m³/h に調整、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.0 m³/h で継続、3号機原子炉への注水について、給水系からの注水量を約 1.7m³/h から約 2.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.1 m³/h から約 4.0 m³/h に調整。
- 12/17 13:58~17:05 その後、当該工事が終了したことから、タービン建屋内炉注水ポンプから常用高台炉注水ポンプに切替。
17:05 これに伴い、1号機原子炉への目標注水量を常用高台炉注水ポンプ運転時の目標注水量 4.5 m³/h(総流量)になるよう、炉心スプレイ系からの注水量を約 2.5 m³/h から約 2.0 m³/h に変更、給水系からの注水量は約 2.5 m³/h で継続。
あわせて、2号機および3号機原子炉の冷却に必要な注水量の評価結果から、2号機原子炉への注水について、給水系からの注水量を約 1.9 m³/h から約 2.0 m³/h に調整、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.1 m³/h から約 3.5 m³/h に変更。3号機原子炉への注水について、給水系からの注水量を約 1.9 m³/h から約 2.0 m³/h に調整、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.0 m³/h から約 3.5 m³/h に変更。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (12/18 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	15.0
2号機	循環冷却システム	運転中	15.2
3号機	循環冷却システム	停止中	11.0
4号機	循環冷却システム	運転中	25

*各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

※3号機使用済燃料プール代替冷却システム停止中のため、至近のデータ(12/12 11:00 時点の値)を記載。

【3号機】

- 12/12 14:02 使用済燃料プール代替冷却系において、弁追設および逆止弁点検を行うため、使用済燃料プールの冷却を停止(停止時プール水温度:約 11.0℃)。
12/18 14:35 当該作業が終了したことから、使用済燃料プールの冷却を再開。なお、冷却再開時のプール水温度は約 23.7℃であり、運転上の制限値 65℃に対して十分余裕があり、プール水温度管理上問題ない。

【共用プール】

- 12/18 9:50 共用プール冷却浄化系において、所内共通D/G(A)メタクラ母線停止作業に伴い、共用プールの冷却を停止。なお、12/19 まで冷却停止予定。冷却停止時のプール水温度は約 19.0℃で、停止中のプール水温度上昇率については約 0.23℃/h と評価しており、停止中のプール水温上昇は約 8℃であることから、運転上の制限値 65℃に対して十分余裕があり、プール水温度管理上問題ない。

<3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元 →	移送先	移送状況
3号機	3号機タービン建屋 →	集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	12/18 14:00 ~ 移送実施中
6号機	6号機タービン建屋 →	仮設タンク	12/18 10:00 ~ 15:00 移送実施

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (12/18 7:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転

* フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/6 ~ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。

以上